

高等学校 令和5年度（2学年用）教科

家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： ( 未来へつなぐ家庭基礎365 <教育図書> )

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 生活を主体的に営むための基礎的な理論とともに、それらに係る技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、生涯を見通し
- 【学びに向かう力、人間性等】 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付ける。

科目 家庭基礎 の目標：

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|--|---|--|
| 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を発見し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。 |

|         | 単元の具体的な指導目標  | 指導項目・内容   | 評価規準   | 知 思 態 |   |   | 配当<br>時数 |
|---------|--|---|--|-------|---|---|----------|
|         |  |   |  |       |   |   |          |
| 1<br>学期 | A編第3章 単元 子どもの生活と保育<br>1 子どもはどう生まれ育つ？<br>2 子どもとどうかかわろう？<br>3 これからの子育てとは？<br>【知識及び技能】<br>・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、生活の概要を理解できるようにする。<br>・生命の尊さ、親やおとなの役割を理解し、人と関わることで成長することを理解できるようにする。<br>・環境整備、子どもの権利と福祉について理解できるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・保育環境について考え、発表したりすることができるようにする。<br>・親の役割や望ましい保育環境について考え、発表したりすることができるようにする。<br>・子どもを取り巻く環境、生活や遊びについてまとめたり、発表したりすることができるようにする。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・保育における親や社会の果たす役割について考えられるようにする。<br>・子どもの権利と福祉について考えられるようにする。<br>・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組めるようにする。   | ・指導事項<br>1-1 子どもの成長の特徴<br>2-1 親の役割<br>2-2 生活習慣と子どもの生活<br>3-1 現在の日本の子育て事情<br>3-2 子育てを支えるしくみ<br>3-3 子どもの権利と福祉<br>3-4 これからの子育て   | 【知識・技能】<br>・子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義、生活の概要を理解している。<br>・生命の尊さ、親やおとなの役割を理解し、人と関わることを通して成長することを理解している。<br>・環境整備、子どもの権利と福祉について理解している。<br>【思考・判断・表現】<br>・保育環境について考え、発表したりすることができる。<br>・親の役割や望ましい保育環境について考え、発表したりすることができる。<br>・子どもを取り巻く環境、生活や遊びについてまとめたり、発表したりすることができる。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・保育における親や社会の果たす役割について考えようとしている。<br>・子どもの権利と福祉について考えようとしている。<br>・自分が将来、保育に関わる存在であることを理解し、自分ごととして学習に取り組んでいる。  | ○     | ○ | ○ | 8        |
|         | B編第1章 単元 食生活と健康<br>1 なぜごはんを食べるの？<br>2 私たちは何を食べているの？<br>3 安全に食べよう<br>4 健康に食べよう<br>【知識・技能】<br>・食と健康の関わり、食事の大切さについて理解できるようにする。<br>・栄養素の特徴や食品の性質について理解できるようにする。<br>・健康・安全を考えた調理をすることができるようにする。<br>・料理の作り方、技術を身に付け、効率よく調理することができるようにする。<br>・資源、エネルギーに配慮した食生活ができるようにする。<br>【思考・判断・表現】<br>・自分や現代の食生活を分析し、まとめたり、発表したりすることができるようにする。<br>・献立を考え、作成することができるようにする。<br>・食品表示を理解した購入ができるようにする。<br>・調理実習や実験、衛生や安全について考えをまとめたり、発表したりすることができるようにする。<br>・食文化について調べたりまとめたりすることができるようにする。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・食生活と環境を科学的に考えられるようにする。<br>・実生活で食品表示を見て活用できるようにする。<br>・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活の課題について目を向けられるようにする。<br>・食事を整え、楽しく食事ができるようにする。<br>・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図れるようにする。<br>・食生活の文化の担い手であるという意識を持たせる。 | ・指導事項<br>1-1 毎日の食事を考えてみよう<br>1-2 ライフステージに合った食生活<br>2-1食品にはどんな栄養素が含まれる？<br>2-2 栄養素を分類しよう<br>2-3 栄養素と食品を見てみよう<br>3-1 食品を選んでみよう<br>3-2 食中毒と安全<br>4-1 何をどれだけ食べる？<br>調理実習<br>調理を科学の視点で見よう！<br>5-1 「おいしさ」って何だ？<br>6-1 私たちの食生活と環境<br>6-2 食文化を継承しよう<br>6-3 未来の食生活 | 【知識・技能】<br>・食と健康の関わり、食事の大切さについて理解している。<br>・栄養素の特徴や食品の性質について理解している。<br>・健康・安全を考えた調理をすることができる。<br>・料理の作り方、技術を身に付け、効率よく調理することができる。<br>・資源、エネルギーに配慮した食生活ができる。<br>【思考・判断・表現】<br>・自分や現代の食生活を分析し、まとめたり、発表したりすることができる。<br>・献立を考え、作成することができる。<br>・食品の表示を理解した購入ができる。<br>・調理実習や実験、衛生や安全について、考えをまとめたり、発表したりすることができる。<br>・食文化について調べたりまとめたりすることができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・食生活と環境について科学的に考えようとしている。<br>・実生活で食品の表示を見て活用しようとしている。<br>・食の安全・衛生について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。<br>・食事を整え、楽しく食事をしようとしている。<br>・調理実習で学んだことを家庭などでも実践し、生活の充実向上を図っている。<br>・食生活の文化の担い手であるという意識を持っている。 | ○     | ○ | ○ | 18       |
|         | 定期考査   |   |  | ○     | ○ |   | 1        |

|     |  |  |  |   |   |   |    |
|-----|--|--|--|---|---|---|----|
|     | <p>B編第3章 単元 住生活と住環境</p> <p>1 どのような家に住みたい？</p> <p>2 安全に住もう</p> <p>3 快適に住もう</p> <p>4 住まいの課題と未来の暮らし</p> <p>住生活を計画しよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解できるようにする。</li> <li>・安全で快適、環境にも配慮した住生活知識を身に付けるようにする。</li> <li>・住居の平面図を読みとることができるようにする。</li> <li>・住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージに応じた住居について考え、発表したりできるようにする。</li> <li>・安全性が高く、居住性に配慮して健康的に住むことができる住居について考えられるようにする。</li> <li>・動線を考えて平面図を作成し発表することができるようにする。</li> <li>・住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについて考え発表したりすることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいについて自身の生活を振り返りながら考えられるようにする。</li> <li>・住居の手入れ、安全性や防災について考えられるようにする。</li> <li>・住生活の文化、地域のコミュニティと共生できるあり方などについて理解できるようにする。</li> <li>・住居の持続可能性について自分ごととして考えられるようにする。</li> </ul>   | <p>・指導事項</p> <p>1-1 住まいって何だ？</p> <p>2-1 安全・安心に暮らそう</p> <p>3-1 つながって暮らそう！</p> <p>3-2 快適に暮らそう</p> <p>4-1 持続可能な住まいへ</p> <p>4-2 これからどう暮らしていこう</p> <p>設計図の製作</p>  | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の役割、住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解している。</li> <li>・安全で快適、環境にも配慮した住生活の知識を身に付けている。</li> <li>・住居の平面図を読みとることができる。</li> <li>・住生活の設計に必要な情報を収集・整理し、計画をたてることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各ライフステージに応じた住居について考え、発表したりできる。</li> <li>・安全性が高く、居住性に配慮して健康的に住むことができる住居について考えることができる。</li> <li>・動線を考えて平面図を作成し、発表したりすることができる。</li> <li>・住居のバリアフリーやユニバーサルデザインについて考えたり発表したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住まいの役割について、自身の生活を振り返りながら考えようとしている。</li> <li>・住居の手入れ、安全性や防災について考えようとしている。</li> <li>・住生活の文化、地域のコミュニティと共生できる住居のあり方などについて理解しようとしている。</li> <li>・住居の持続可能性について自分ごととして考えようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 8  |
|     | <p>B編第2章 単元 衣生活と健康</p> <p>1 衣服の役割って何だろう？</p> <p>2 衣服はどうやってつくられる？</p> <p>3 衣服の計画・管理を知ろう</p> <p>4 今後の衣生活を考えよう</p> <p>衣服実習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能、健康に与える影響について理解できるようにする。</li> <li>・三原組織や編物、服の構成の特徴を理解できるようにする。</li> <li>・被服管理について理解し、管理できる技術を習得できるようにする。</li> <li>・縫い方など、基礎的な技術を身に付けられるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の着装、社会的機能について考え、まとめたり、発表したりすることができるようにする。</li> <li>・衣生活について、資料を収集したり、調査したりしてまとめることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服に関心を持ち、個性を表現し、機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、衣生活を改善できるようにする。</li> <li>・自己実現する着装の工夫、健康的な衣服選択、整理や管理について考えられるようにする。</li> <li>・衣生活に関する文化や背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持てるようにする。</li> </ul>   | <p>・指導事項</p> <p>1-1 衣服と私たち</p> <p>1-2 衣服の機能</p> <p>1-3 人の一生と衣服</p> <p>1-4 衣服の安全上の問題</p> <p>2-1 衣服の材料</p> <p>2-2 衣服のつくり</p> <p>3-1 衣服を選ぶ</p> <p>3-2 衣服の手入れ</p> <p>4-1 環境にやさしい衣生活</p> <p>4-2 人にやさしい衣服</p> <p>4-3 衣生活を支える世界</p> <p>4-4 衣生活の未来</p> <p>実習：手縫いの巾着袋作り<br/>実技テスト</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能、健康に与える影響について理解している。</li> <li>・三原組織や編物、服の構成の特徴を理解している。</li> <li>・被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。</li> <li>・縫い方など、基礎的な技術を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の着装、社会的機能について考え、まとめたり、発表したりすることができる。</li> <li>・衣生活について、資料を収集したり、調査したりしてまとめることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服に関心を持ち、個性を表現し、機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、衣生活を改善しようとしている。</li> <li>・自己実現する着装の工夫、目的に応じた健康的な衣服選択、整理や管理について考えようとしている。</li> <li>・衣生活に関する文化や背景について理解し、自身が将来の担い手であるという意識を持っている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 2学期 | <p>A編第1章 単元 生涯の生活設計</p> <p>1 あなたの将来、どうする？</p> <p>A編第2章 単元 青年期の自立と家族・家庭</p> <p>1 自立への一歩を踏み出そう</p> <p>2 家族・家庭って何？</p> <p>3 将来の自分と家庭を想像する</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生で起こりうるライフイベントについて理解できるようにする。</li> <li>・現代の家族の特徴、法律の基本的な趣旨、社会制度について理解できるようにする。</li> <li>・家族について必要な資料を収集したり、調査できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら人生を考え必要なことやリスクについて考えられるようにする。</li> <li>・生活設計について、人の考えを比較して意見を言えるようにする。</li> <li>・青年期をどのように過ごすか、具体的に考え、発表したりすることができるようにする。</li> <li>・家族・家庭や職業労働のあり方について考え発表できるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフイベントについて主体的に考え、学習活動に取り組めるようにする。</li> <li>・人生のリスクについて調べられようようにする。</li> <li>・「おとな」になることの意義について、自分の考えを持って向き合えるようにする。</li> <li>・家族の形や性のあり方について、理解できるようにする。</li> <li>・青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えられようようにする。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <p>1 人は一生発達する</p> <p>2 これからの人生に何が起こるか</p> <p>3 人生の課題を解決しよう</p> <p>1-1 あなた自身を知ろう</p> <p>1-2 5つの自立</p> <p>2-1 家族を築くこと</p> <p>3-1 現在の家族を取り巻く状況</p> <p>3-2 男女共同参画社会</p> <p>3-3 これからの家族と社会</p>   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人生で起こりうるライフイベントについて理解している。</li> <li>・現代の家族の特徴、法律の基本的な趣旨、社会制度について理解している。</li> <li>・家族について必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら人生を考え、必要なことやリスクについて考えている。</li> <li>・生活設計について、人の考えを比較して意見を言うことができる。</li> <li>・青年期をどのように過ごすか、具体的に考え、発表したりすることができる。</li> <li>・家族・家庭のあり方や職業労働のあり方について考え、発表したりできる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフイベントについて主体的に考え、学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>・人生のリスクについて自ら調べようとしている。</li> <li>・「おとな」になることの意義について、自分の考えを持って向き合おうとしている。</li> <li>・家族の形や性のあり方について、理解しようとしている。</li> <li>・青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。</li> </ul>                 | ○ | ○ | ○ | 4  |

|   |  |  |   |   |   |   |
|---|--|--|---|---|---|---|
| <p>A編第4章 単元 高齢期の生活と福祉</p> <p>1 高齢期ってどういう時期？</p> <p>2 高齢化する日本を生きる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の特徴、高齢者福祉の現状と課題について理解できるようにする。</li> <li>・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について調査、発表することができるようにする。</li> <li>・高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を考察することができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えられるようにする。</li> <li>・高齢者の自立と尊厳について、高齢者の立場に立って理解できるようにする。</li> </ul>  | <p>・指導事項</p> <p>1-1 高齢者とは</p> <p>1-2 高齢期の心身の変化</p> <p>1-3 高齢期の健康</p> <p>1-4 高齢期の生活</p> <p>2-1 高齢化の現状</p> <p>2-2 超高齢社会の課題</p> <p>2-3 安心できる暮らしを支える</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の心身の特徴、高齢者福祉の現状と課題について理解している。</li> <li>・高齢者の生活を支える制度や地域社会のしくみについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を取り巻く社会について知り、その課題と改善について調査したり発表したりすることができる。</li> <li>・高齢者の自立した生活を支えるために、家族・地域・社会の役割を具体的に考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する福祉の現状を理解し、高齢期の生活を支えるしくみについて考えようとしている。</li> <li>・高齢者の自立と尊厳について、高齢者の立場に立って理解しようとしている。</li> </ul>  | ○ | ○ | ○ | 3 |
| <p>D編ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクト、学校家庭クラブの意義を理解し、具体的な計画をたてることができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決を目指した活動を通して得た結果について、発表したり、意見交換したりすることができるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科の学習を通して得た知識・技能を活かし、生活の課題を見いだして改善できるようにする。</li> </ul>  | <p>・指導項目</p>   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクト、学校家庭クラブの意義を理解し、具体的な計画をたてることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の解決を目指した活動を通して得た結果について、発表したり、意見交換したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭科の学習を通して得た知識・技能を活かし、生活の課題を見いだして改善しようとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ |   | 1 |
| <p>A編第5章 単元 共生社会と福祉</p> <p>1 共生って何だろう？</p> <p>2 ノーマライゼーションとは</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自助、互助、共助、公助について理解できるようにする。</li> <li>・共生社会の重要性を知り、理念を理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会の重要性を考え、その実現のための課題について具体的に考え、資料を収集してまとめられるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな立場や価値観の人に対しても理解できるようにする。</li> <li>・共生社会実現のために、自分に何ができるかを考えられるようにする。</li> </ul>   | <p>・指導事項</p> <p>1-1 共生社会って何だろう</p> <p>1-2 リスクに備えよう</p> <p>2-1 ノーマライゼーションの考え</p> <p>方</p>   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自助、互助、共助、公助について理解している。</li> <li>・共生社会の重要性を知り、理念を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会の重要性を考え、その実現のための課題について具体的に考え、資料を収集してまとめることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>  | ○ | ○ | ○ | 2 |
| <p>C編第1章 単元 生活における経済の計画</p> <p>1 将来に向けて家計を考えよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計、金融商品とその特徴、経済社会を理解できるようにする。</li> <li>・家計の管理について理解できるようにする。</li> <li>・経済計画の重要性について理解できるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計管理についてシミュレーションすることができ、将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。</li> <li>・さまざまな金融商品について調べ、発表することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家計簿をつけるなど工夫できるようにする。</li> <li>・生涯を見通した家計管理のあり方について考えられるようにする。</li> </ul>   | <p>・指導事項</p> <p>1 家計と社会のかかわり</p> <p>2 将来の経済計画を考えよう</p>   | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計、金融商品とその特徴、経済社会について理解している。</li> <li>・家計の管理について理解している。</li> <li>・経済計画の重要性について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家計管理についてシミュレーションすることができ、将来必要になる費用や資産形成について考えたり、発表したりすることができる。</li> <li>・さまざまな金融商品について調べ、発表することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家計簿をつけるなど工夫している。</li> <li>・生涯を見通した家計管理のあり方について考えようとしている。</li> </ul>   | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>3 学期</p> <p>C編第2章 単元 消費生活と意思決定</p> <p>1 何をどうやって買う？</p> <p>2 かしこい消費者になろう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動における意思決定の過程とその要因について理解できるようにする。</li> <li>・契約や、法律、消費者問題について理解できるようにする。</li> <li>・消費者の権利と責任について理解し、消費者として適切な判断ができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報リテラシーや消費者問題について考えられるようにする。</li> <li>・消費者の責任や、持続可能な社会のための消費行動のあり方について発表したり、意見交換できるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようにする。</li> <li>・消費者の権利と責任に関心を持ち、現代の消費生活と資源・環境や持続可能な社会についても考えられるようにする。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <p>1-1 私たちの消費生活</p> <p>1-2 契約の重要性</p> <p>1-3 消費者信用のしくみ</p> <p>2-1 消費者問題の現状と課題</p> <p>2-2 消費者問題にあつたら</p> <p>2-3 消費者の権利と責任</p>            | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動における意思決定の過程とその要因について理解している。</li> <li>・契約や、法律、消費者問題について理解している。</li> <li>・消費者の権利と責任について理解し、消費者として適切な判断ができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報リテラシーや消費者問題について考えられている。</li> <li>・消費者の責任や持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方について考え、今後の課題と解決方法について発表したり、意見交換したりすることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費行動への意思決定には様々な要因があることを理解し、自身の消費行動として具体的に考えようとしている。</li> <li>・消費者の権利と責任に関心を持ち、現代の消費生活と資源・環境や持続可能な社会についても考えようとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 4 |

|  |   |  |   |   |   |   |
|--|---|--|---|---|---|---|
| <p>C編第3章 単元 持続可能なライフスタイルと環境</p> <p>1 未来の地球環境は大丈夫？</p> <p>2 私たちにできることは何だろうか？</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題についての基礎的な知識を身に付け、地球環境への影響、実質的行動に移すことの重要性を理解できるようにする。</li> <li>・社会の取り組み、SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連づけることができるようにする。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな環境問題、持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方について、まとめたり、発表したりできるようにする。</li> <li>・自分の生活と環境のつながりについて考えられるようにする。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、自らの生活意識やライフスタイルを見直せるようにする。</li> </ul> | <p>・指導事項</p> <p>1-1 暮らしと環境問題</p> <p>1-2 社会の取り組み</p> <p>2-1 持続可能な消費</p> <p>2-2 行動し、発信しよう</p> | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題についての基礎的な知識を身に付け、地球環境への影響、実質的行動に移すことの重要性を理解している。</li> <li>・社会の取り組み、SDGsとその背景について理解し、日々の生活と関連づけることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな環境問題、持続可能な社会のためにできる消費行動のあり方について、まとめたり、発表したりできる。</li> <li>・自分の生活と環境のつながりについて考えている。</li> <li>・地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、自らの生活意識やライフスタイルを見直そうとしている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、自らの生活意識やライフスタイルを見直そうとしている。</li> </ul> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>定期考査</p>  |   |  | ○ | ○ |   | 1 |